

エボニック、インキ受容層コーティング向け粒子分散液を発表 ～インクジェット印刷のドットの鮮やかさ・解像度を向上～

2025年5月26日

- ・ 水性インクジェットのインキ受容層コーティングを改善する分散液 AERODISP®の新シリーズを発表
- ・ 高品質のデジタル印刷に不可欠な鮮やかなドットと解像度を実現
- ・ アニオン性とカチオン性の2つのグレードにより、様々なインキや用途のニーズに対応

本件に関するお問合せ
エボニック ジャパン(株)
コミュニケーションズ
TEL 03-5323-7353
FAX 03-5323-7399
E-mail: info-jp@evonik.com

エボニック インダストリーズ(本社:ドイツ、エッセン、以下「エボニック」)のコーティングアディティブス部は、水性インクジェットのインキ受容層コーティングを改善する SiO₂ または Al₂O₃ 粒子をベースとした 4 種類の新しい分散液 AERODISP®を発表しました。

特に水性インクジェット用インキにおいて、ドットの鮮明さと解像度の高さはアナログ印刷からデジタル印刷への移行を支える鍵となります。印刷物の高品質な仕上がりを実現するには、基材上でのインキの広がりや定着をコントロールする必要があります。

エボニックのコーティングアディティブス部が開発した新シリーズの水性分散液 AERODISP®は、インクジェットプライマーとしても知られるインキ受容層コーティング上で、高い解像度とインキの粒子定着を実現します。AERODISP®は、簡単な攪拌で組み込むことができ、様々なバインダーや配合に適合します。

さまざまな用途のニーズに応えられるよう、この新しい分散液はアニオン性 2 種類とカチオン性 2 種類のグレードを取り揃え、プライマーへのインキの最適な相互作用と定着を可能にします。

アニオン性グレードは、非イオン性およびアニオン性バインダーシステムと相溶性があるため、特に食品包装や装飾用途に推奨される製品です。カチオン性グレードは、非イオン性およびカチオン性バインダーシステムと相溶性があり、テキスタイルインキなどのプライマーに最適です。

エボニック ジャパン 株式会社
〒163-0938
東京都新宿区西新宿 2-3-1
新宿モリス 12F

www.evonik.jp

新しい分散液 AERODISP®の概要:

AERODISP® WR 8520	アニオン性、SiO ₂ ベース
AERODISP® W 7520 WF	アニオン性、SiO ₂ ベース、食品接触包材に最適
AERODISP® WK 7330	カチオン性、SiO ₂ ベース
AERODISP® W 630	カチオン性、Al ₂ O ₃ ベース、高い透明性を実現

コーティングアディティブス部インキ市場の責任者を務めるスザンヌ・ストラック (Susanne Struck) は、「当社は、水性インクジェットインキ用の湿潤剤を包括的に提供しています。これまでお客様との協力を通じて、基材の重要性を実感してきました。インキ受容層コーティングやインクジェット用プライマーは、当社の新しい分散液 AERODISP®を配合することで、最高の解像度を実現することができます」と述べています。

コーティングアディティブス部は、水性、UV・EB 硬化型、溶剤系の印刷インキやインクジェットインキ用の各種添加剤に加え、インキ用製品とサービスを幅広く提供しています。

本製品の詳しい情報は、www.coating-additives.com でご覧いただけます。

エボニック インダストリーズについて

エボニックは、100か国以上で事業を展開するスペシャルティケミカルの世界的リーダーの1つです。2024年度は、152億ユーロの売上、21億ユーロの営業利益(調整後EBITDA)を計上しました。革新的で収益性の高い持続可能なソリューションをお客様に提案するために、私たちは化学のその先を目指します。「毎日の暮らしを豊かに」という同じ目的のもと、約 32,000 人の社員が働いています。

免責事項

このプレスリリースに記載されている見通しや期待、または将来の予測に関する記述は、既知または未知のリスクと不確実性を含む可能性があります。実際の結果や発展は事業環境の変化により異なる場合があります。エボニック インダストリーズ AG はこのリリースに含まれる見通し、期待、記述に関して、更新の義務を負いません。

(本プレスリリースは、2025年5月8日付で本社から発行されたプレスリリースを翻訳しています。)